

2022年7月2日(土)  
車いすで自由研究しりん!!2022  
情報提供



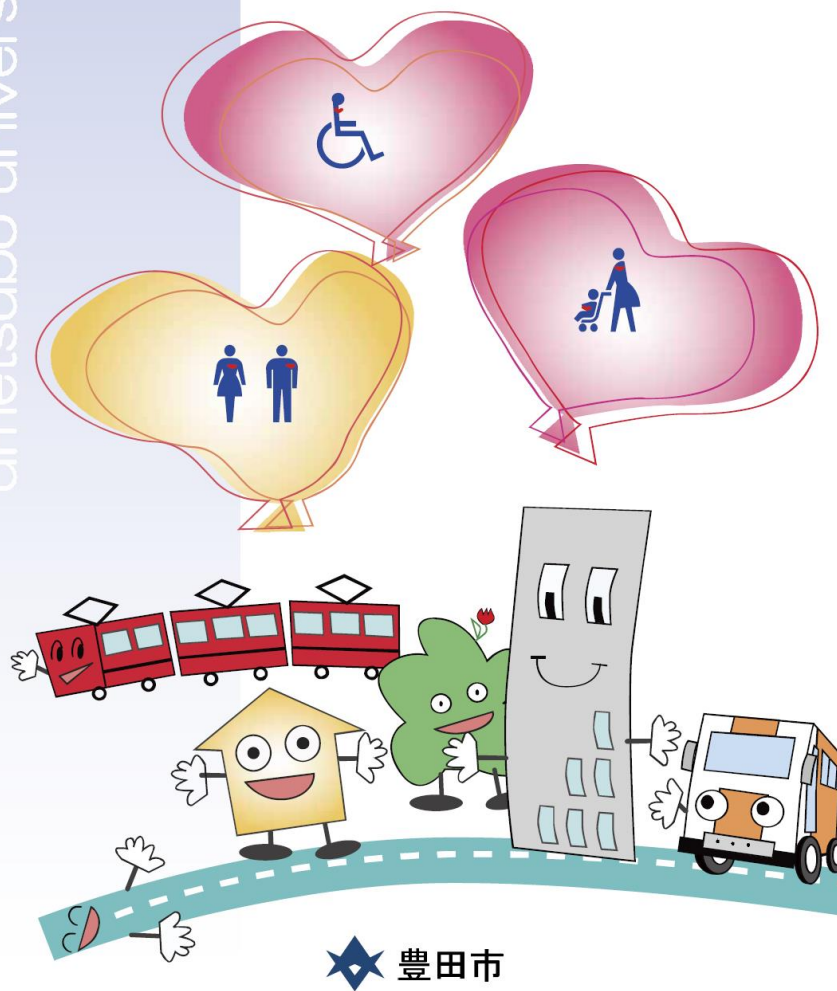
# 豊田市の ユニバーサルデザインの現状

資料提供：豊田市都市整備部都市計画課

編集：NPO法人豊田ハンディキャブの会 野下

# 梅 坪駅周辺

## ユニバーサルデザイン基本構想



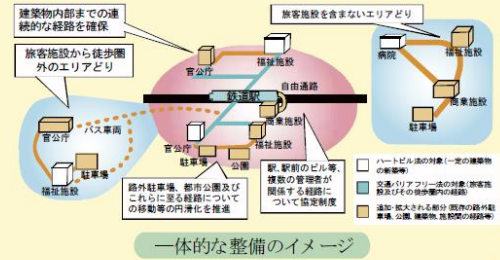
豊田市が発行している  
リーフレットと  
写真を見ながら、  
豊田市内が  
どうなっているかを  
知ろう！！

# ユニバーサルデザイン基本構想とは

## バリアフリー新法について

「バリアフリー新法」は、平成18年12月に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の略称で、建築分野と交通分野の一体的なバリアフリー化を促進するために、建築物のバリアフリー化に関する法律（ハートビル法 平成6年施行）と旅客施設や道路等の整備に関する法律（交通バリアフリー法 平成12年施行）が統合・拡充して策定されました。

この法律のもと、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、バリアフリー化のための方針や、実施する事業等を盛り込んだ「基本構想」を作成することができます。



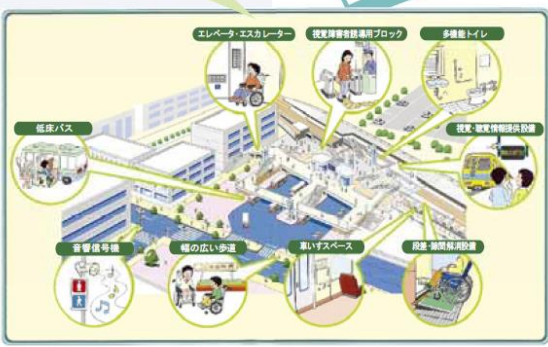
一体的な整備のイメージ

## ユニバーサルデザイン基本構想

豊田市ではバリアフリー新法に基づいて基本構想を策定するにあたり、高齢者や障がい者の方に限らず、豊田市を訪れるすべての人が快適に過ごせる環境づくりを目標としています。そこで、これまでに進められている関連計画を踏まえつつ、ユニバーサルデザインの視点から基本構想を策定しました。



ユニバーサルデザインのイメージ



## ユニバーサルデザインとは？

「ユニバーサルデザイン」とは、すべての人が使いやすいデザインのことです。つまり、年齢、性別、国籍、身体状況などに関係なく、はじめから誰もが利用しやすいように、まちや建物、製品、環境、サービスなどをつくらうとする考え方です。高齢者や障がい者を対象にし、障がいを取り除くことを重視した「バリアフリー」に対して、すべての人を対象にし、便利で安全な環境づくりを目指す「ユニバーサルデザイン」は、バリアフリーより発展した考え方と言えます。

# まずは法律から。

**ハートビル法**  
平成6年(1994)  
9月から  
**建築物**  
のバリアフリー化

**交通バリアフリー法**  
平成12年(2000)  
11月から  
**電車・バス・駅・  
道路整備**  
のバリアフリー化

**バリアフリー新法**  
平成18年(2006)12月から

**「基本構想」を  
作ることができる**

豊田市の場合は

## 梅坪駅周辺ユニバーサルデザイン基本構想

- この基本構想は、平成20年度(2008)に基本構想を公表し、具体的な整備内容を取りまとめた特定事業計画を平成21年度(2009)に策定し、平成22年度(2010)から29年度(2017)において事業を実施してきた。
- **基本構想作成の委員会を設置**（平成20年度）  
参加者：学識経験者（大学など）、福祉関係者、  
道路・公共交通等の事業者（委員14名）
- **委員会の取り組み**（全3回）
  - ・ 建物や駅、道路の現地調査
  - ・ 障がいのある方が参加するワークショップ
  - ・ 障がいのある方、医療施設や公共施設へ来訪する市民・職員を対象としたアンケートの実施

# 基本構想の目標

## 基本理念

安全・安心・快適なユニバーサルデザインのまち  
-すべての人が暮らしやすく皆が集まるまちづくり-

## 基本方針

1 誰もが安全に移動や利用ができ  
安心して暮らせるまちづくり

誰もが公共施設や駅などを利用しやすく安全に移動できる歩行空間のあるまちづくりを進めます。

2 地区特性に合わせた  
段階的な整備

福祉施設等が多い当地区の特性に合わせて、施設間が快適に移動できるよう、段階的に整備を進めます。

3 心のバリアフリーの促進

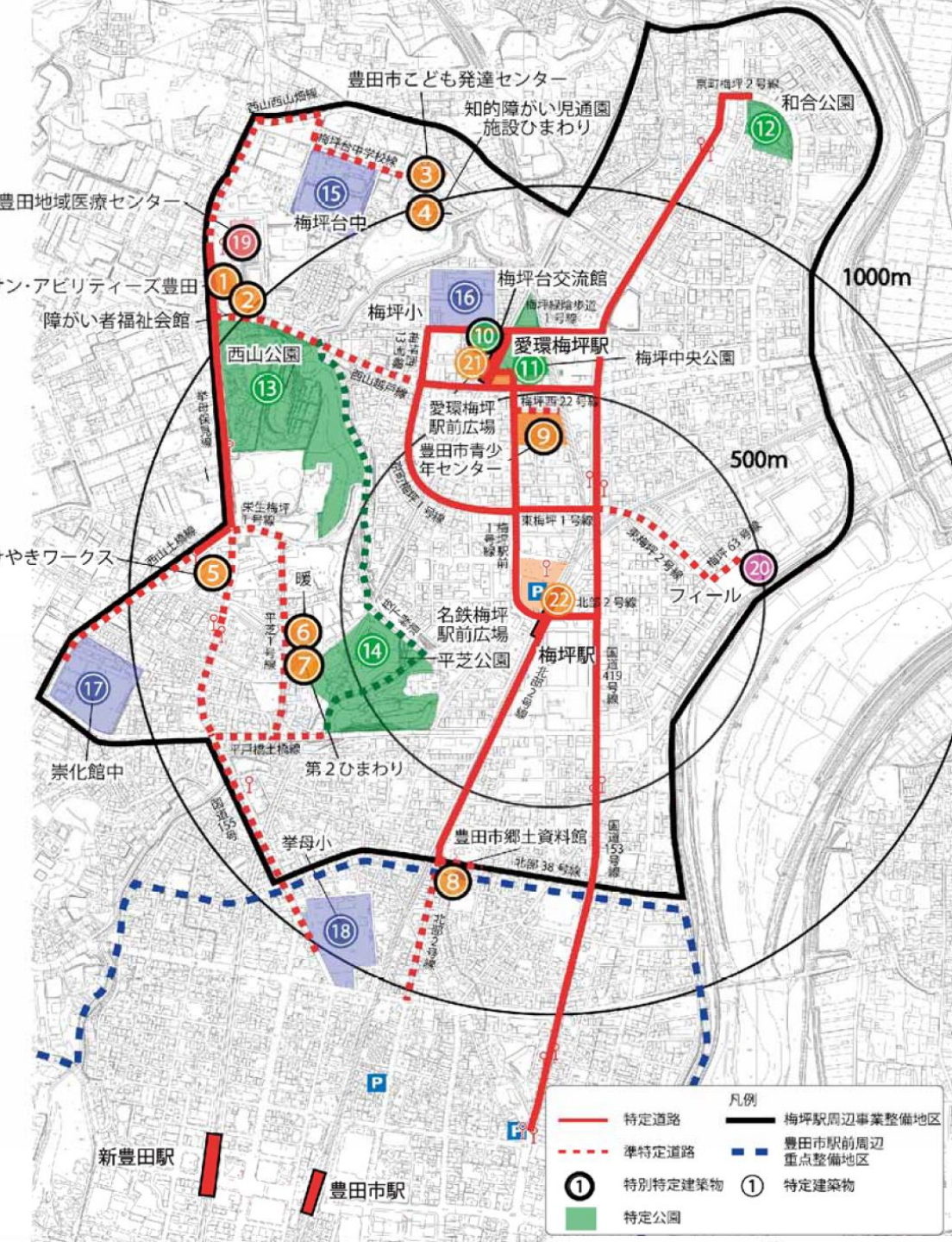
市民一人ひとりがバリアフリーに対する認識を深め、高齢者や障がい者への思いやりを育むための啓発活動を積極的に取り組みます。

4 市民、事業者、行政の  
共働による取り組み

市民、事業者がユニバーサルデザインに対し共通の認識を持ち、これらが自主的な取り組みや活動を行えるように行政が支援します。

5 持続的な進行管理

基本構想に基づく事業について定期的に進行管理の確認を行い、事業者と協力して、施策の持続的な発展を図ります。



## 重点整備地区の設定

- ・ 名鉄梅坪駅を中心に半径500mから1kmの範囲
- ・ 高齢者や障害のある方などが、日常生活、または社会生活において、平常時に利用する広域的利用施設を含む範囲

# 地区内を基本に整備対象となる施設の設定

## 特定道路

- ゆとりある歩道幅員の確保を推進し、有効幅員を2 m以上の整備を推進します。
- 段差・勾配の解消や、路面改良により、安全な歩行空間の確保を推進します。
- 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設 (JIS規定)、及び改良を推進します。
- 誰もが安全で円滑に横断できるよう、音響信号や横断歩道の設置に努めます。
- 照明を充実させ、夜間等の安全性の確保に努めます。

現状



改良イメージ



有効幅員2 m以上で、できるだけ広く確保し、段差や勾配の小さい構造に改良していきます。

## 準特定道路

- 丘陵部等で道路勾配が急な箇所には、休憩できるベンチの設置に努めます。
- 歩道整備が困難な場合は、カラー舗装や速度規制をなど、できる限りの改良を行い、安全性の確保に努めます。
- 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設を推進します。



ベンチ設置イメージ



カラー舗装イメージ

# 地区内を基本に整備対象となる施設の設定

## 特定建築物(特別特定建築物)

- 建物の出入口に視覚障がい者誘導用ブロックの設置に努めます。
- 障がい者用駐車場や多機能トイレの案内表示を行い、**わかりやすい案内**に努めます。
- 施設内のトイレについては、**安心して使いやすい構造**に努めます。



規定に沿った視覚障がい者用誘導ブロックを設置に努めます



障がい者駐車場用マークの表示に努めます

## その他

- バス路線にあるバス停を勾配が緩やかな箇所に配置し、乗り降りの利便性に努めます。



# 施設の設定 名古屋鉄道梅坪駅 エレベーター



# 施設の設定 名古屋鉄道梅坪駅 多機能トイレ



整備後



# 施設の設定 名古屋鉄道梅坪駅 階段手摺2段化



整備後



# 特定道路の設定 R419(都)豊田多治見線 歩道拡張



整備後



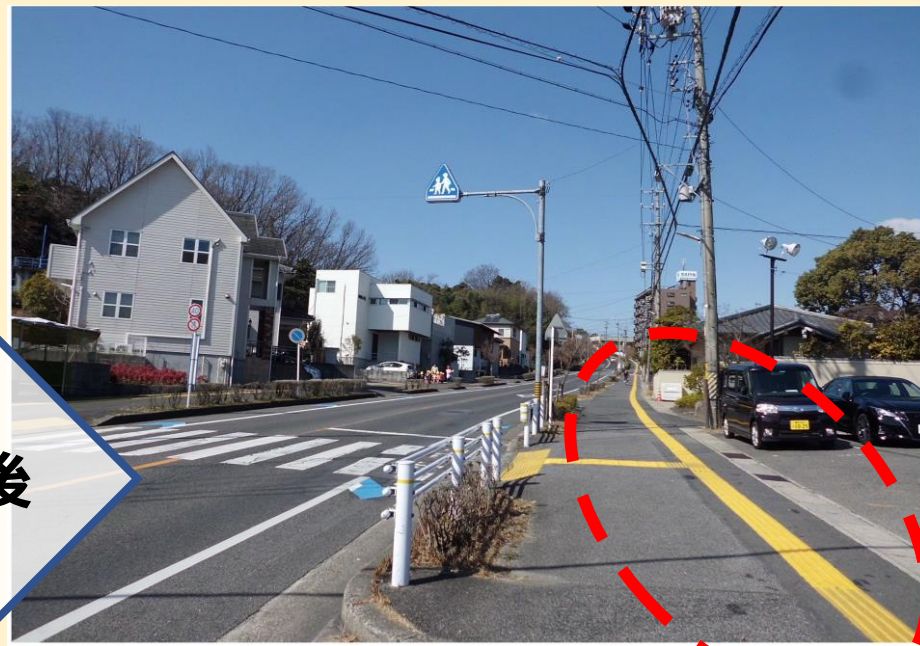
# 特定道路の設定

## 市道西山越戸線

### 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設



整備後



# 特定道路の設定

## 市道北部2号線

### 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設



整備後



# 特定道路の設定

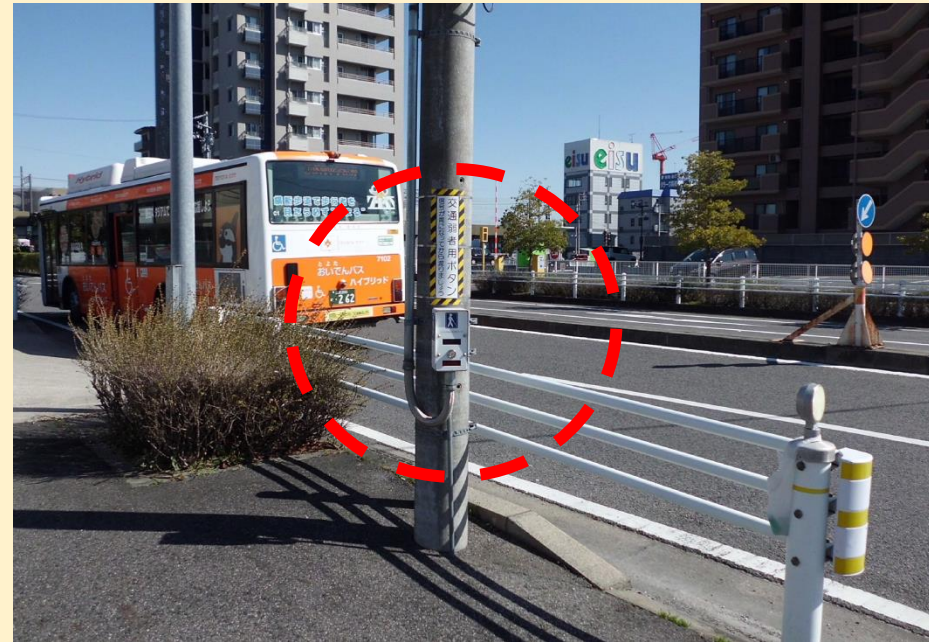
# 愛環梅坪駅前広場

# 視覚障がい者誘導用ブロックの敷設



# 特定道路の設定

# 愛環梅坪駅前1号線 視覚障がい者用付加装置の設置





# 特定道路の設定

# 愛環梅坪駅前1号線 信号機分離化・視覚障がい者用 誘導ブロックの敷設



特定建築物などの設定

西山公園

多機能トイレの改良



# 特定建築物などの設定 障がい者福祉会館



整備後



# 基本構想の実現に向けて

1

## 継続的かつ積極的な改善

この基本構想が一過性の取り組みで終わることのないよう、策定後も事業の着実な実施、評価、改善を図り、**継続的かつ積極的な質の向上**を図る必要があります。

今後、整備を行うにあたり、高齢者、障がい者などの利用者のニーズにあった整備を行うために、できる限り事業の準備段階から利用者の参加を得て実施することとします。

2

## 特定事業の実施

各特定事業を進めていくために、基本構想に従い、公共交通事業者、道路管理者、警察、各施設管理者等が協議し、調整を図りながら「**特定事業計画**」を定めていくこととします。

3

## 重点整備地区以外の対応

この基本構想では、名鉄梅坪駅・愛環梅坪駅周辺を優先的にバリアフリー化を図るべき重点整備地区として策定していますが、最終的な目標としては、本市の**まち全体のバリアフリー化**にあります。今後、土地区画整理事業や道路整備事業を行う際には、豊田市駅周辺と梅坪駅周辺での基本構想における基本理念の考え方に沿った整備を行っていきたいと考えています。

4

## 関係者の取り組み姿勢

この基本構想に示す施策の中には、歩道上への違法駐車や放置自転車、バリアフリー教室などの啓発活動への参加など、管理者や事業者だけでは実現が困難なものもあります。国・県を含めた行政機関の支援を受けながら、高齢者・障がい者等、商店街や地域、NPO等の市民組織、企業、個人の市民など様々な人が**共働、参画、交流、連携**の活動を行い、全市的な取り組みとしてバリアフリー環境の実現を目指していきたいと考えています。

- 梅坪地域については平成29年でいったん役目を終えた。  
これ以降は、ユニバーサルデザインの考え方は継続していく。  
**「みんなでいいまちをつくる」**
- バリアフリーマスタープランについて、作成している市はまだまだ少ないが、  
**必要であるとの声が増えれば、検討していくことになる。**